

## 令和4年度学校経営の重点等

### 1 学校経営の重点

現在、グローバル社会が進展しており、ICTの進歩がこうした社会の変化を推進し、これからの社会を予測することが困難な激しい変化の時代を迎えている。

国際社会がSDGsに普遍的に取り組み、日本の多くの市町村で人口減少、少子高齢化が加速する中、今後、生きがいを持って、豊かな人生を送るとともに、魅力と活力のある新しい社会を創造するには、常に世界に広く視野を開くとともに、自己がつながる地域社会を直視し、不透明な未来への道を切り拓く力を育成する必要がある。

#### (1) 校訓・教育指針

- ア 校訓 『英知 自律 友愛』
- イ 教育指針 『人みな使命あり』

#### (2) 教育方針

- ア 地域に学び、知識と知恵を身につけ、地域と協働する創造的な人材を育てる。
- イ 地域との活動の中で、自律の精神を養い、規範意識と自己統制力を育てる。
- ウ 学校と地域の活動の中で、豊かな心を培い、敬愛と協調の態度を育てる。

#### (3) 目指す学校像

- ア 地域の学校
  - 地域に学び、地域と協働する教育活動を「総合的な探究の時間」や各教科、学校行事等で組織的に推進する。
- イ 自ら学ぶ学校
  - 故郷に育った自己認識と故郷に貢献する進路意識を形成させ、地域協働活動や地域への提言発表会、インターンシップを通して自分の進路を確かなものにする「村高キャリア教育」を整備し展開する。
- ウ 心豊かな学校
  - 規律ある学校生活を通して、自他を尊重し、自分を社会の中で活かす規範意識やモラルを育成する。また、協働活動を通して、自分で考え、チームの中で提案し、互いに励まし合える、協同的に行動できる生徒を育成する。

#### (4) 育成する資質・能力

課題発見能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見として地域の課題や改善点を発見し、魅力をあげる</li> <li>・社会情勢や他の地域と比較して地域の課題や魅力をあげる</li> </ul>
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人または仲間と協力し、解決策や活性策を考える</li> <li>・一人または仲間と協力し、企画を立案し実施する</li> </ul>
プレゼンテーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えやグループ内で話し合った内容をまとめ、発表する</li> <li>・具体的な考えや提案をわかりやすく工夫して発表する</li> </ul>
新たな価値を創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗を恐れず、新しいアイデアや計画を立てて実施する</li> <li>・考え方や価値観の違いを超えて協働する</li> </ul>

コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを伝え、相手の意見を聞いて、質問する</li> <li>・活動や学習において大人へのインタビューや話し合いをする</li> </ul>
議論する能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見が多数出たときに、話し合いにより調整してまとめる</li> <li>・相手の思いや意見を理解し、意見交換により皆が納得する結論を導く</li> </ul>
コーディネート能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画や探究活動が計画通り進むように、方法や役割を工夫する</li> <li>・多くの人と協力し、新たなネットワークを形成して探究や活動を行う</li> </ul>
自己表現能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや意見、感情などを、聞き手に伝え、表現する</li> <li>・地域での活動や学習で、相手を尊重し、自分の意見や思いを表現する</li> </ul>

## (5) 本年度の重点目標

### ア 地域との協働活動

#### (ア) 「村高発★地域元気化プロジェクト」

民 芸 班	演舞・和太鼓演奏
吹 奏 楽 班	訪問演奏、小中学生への技術指導
食 文 化 班	地元食材を活用した商品開発
環 境 A 班	棚田の保全運動、水田の土壌調査
環 境 B 班	森の健康診断、木の駅プロジェクト
地 域 福 祉 班	地域での調査と課題解決の提言
紙 漉 き 班	射添紙の復活プロジェクト
集 落 調 査 班	集落の魅力発見・発信

#### (イ) 「全校生スタッフ」

みかた残酷マラソン全国大会 (6月)
村岡ダブルフルウルトラランニング (9月)

#### (ウ) 地域創造系の調査・発信活動

私の地域活性化プラン (卒業論文)
集落魅力発信プロジェクト「むらの風景」
現地視察研修
教育講演会・地域サミット
町長講演会

#### (エ) 発表・発信

村高フォーラム (10月)
探究発表会 (3月)

### イ 教育的ニーズに応じた指導・支援

#### (ア) 通級による指導拠点校

自 校 通 級	BSS (ベーシックソーシャルスキル) SS (ソーシャルスキルスタディ)
巡 回 指 導	香住、浜坂
但馬モデル	エリアの高校をサポート 教員研修・ケース会議等の実施

#### (イ) 校内支援体制

教育相談委員会 (毎週定期開催)
特別支援教育委員会

## 2 教科指導等の重点

### (1) 教科指導

「確かな学力」を育成するため、「だれと学ぶか」、「どこで学ぶか」に重点を置いた教育課程を編成するとともに、ICT の特性をいかした学習環境の整備を推進する。

#### ア 重点目標

- (ア) 地域と連携した協働性のある学び。
- (イ) 全国募集、外部講師を活用した多様性のある学び。
- (ウ) 体験活動での自己有用感、敬愛と協調を高める学び。

#### イ 実践事項

- (ア) ICT を活用した学習習慣の定着。
- (イ) 少人数学習・習熟度学習による個々のニーズに応じた学習形態の工夫。
- (ウ) ICT の特性をいかした学びの推進。
- (エ) 類型における系統的で発展的な学校設定教科の配置。
- (オ) 探究活動における成果物を活用した検証。

### (2) 生徒指導

校訓『英知・自律・友愛』、教育指針『人みな使命あり』の精神のもと、明確な方針と全教職員の共通理解で一貫した指導を行う。

#### ア 重点目標

- (ア) 生命を尊ぶ精神を基本に据えた、対話を重視した生徒指導の推進。
- (イ) 自分で自分を律し、自己開発に努める姿勢の育成。
- (ウ) お互いに尊敬し合い、思いやりの心をもった人間関係の構築。
- (エ) 保護者、関係機関と連携した、「地域で育てる」体制づくり。

#### イ 実践事項

- (ア) 学校行事、部活動、生徒会活動等を軸にした高校生活の充実。
- (イ) あいさつ運動など、香美町と連携した活動の推進。
- (ウ) 「村高スマホ利用5か条」制定など、自主性のある生徒会活動。
- (エ) 面談やアンケート等を用いた、いじめの早期発見、早期対応。

### (3) 進路指導

全校的な協力体制のもとに、「村高キャリア教育」を展開し、本校教育活動の全領域を通して、生徒一人一人が自らの力で進路決定を行うに必要な能力・態度を育成する。

#### ア 重点目標

- (ア) 的確な情報提供を軸に、進路や生き方を主体的に選択する能力を育成する。
- (イ) 自分の経験について志望理由書を通して見つめ、自己分析力を高める。
- (ウ) 「キャリア・パスポート」を用いた、体系的・系統的なキャリア教育の推進。

#### イ 実践事項

- (ア) 就業体験事業「総合型・学校推薦型選抜対策講座」の実施。
- (イ) インターンシップ・学校見学による、学ぶこと・働くことへの意識醸成。
- (ウ) 進学希望者と就職希望者に応じた面接指導の組織的な実施。
- (エ) 「村高キャリア教育」の更なる充実。

### 3 学年指導の重点

---

#### (1) 第1学年

- ア 校訓『英知・自律・友愛』、教育指針『人みな使命あり』の精神の滋養
- イ 自走を目指す生活態度の育成
- ウ 希望する進路の実現に向けた土台作り

#### (2) 第2学年

- ア 人間関係を構築する力の育成
- イ 自発的に問題を解決する能力の向上
- ウ 進路目標の具体化と、学力・自己表現力の向上

#### (3) 第3学年

- ア 最高学年としてのリーダーシップと社会性の醸成
- イ 自らの能力を十分に発揮できる逞しさと粘り強さの涵養
- ウ なりたい自分になるため、短期的および長期的な目標の設定

### 4 健康管理等に関する指導の重点

---

#### (1) 健康教育

生徒が自己の健康管理に留意し、より積極的に健康の保持増進を図ることができよう保健活動の充実を図る。

- ア 保健管理の充実
- イ 教育相談（キャンパスカウンセリング）の充実
- ウ 健康診断と事後の早期治療の促進
- エ 食育を中心に、健康に過ごすための知識および態度の育成。

#### (2) 安全教育

日常のあらゆる教育活動を通じて安全教育を徹底する。

- ア 交通安全の推進、自然災害に対応した避難訓練の充実
- イ 関係諸機関と連携した学校安全体制の強化
- ウ 心肺蘇生法(AED)をはじめとする緊急処置の訓練
- エ 保健美化委員会の活性化と、教育環境の整備

### 5 本年度の研究テーマ

---

#### (1) 文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」(地域魅力化型)

『ちいき大好きプロジェクト』～郷土愛を育む「村岡メゾッド」の開発～

- ア 地域の教育資源を活用した教育活動
- イ 大学及び地域社会等と連携した、学校設定教科「地域探求」
- ウ 総合的な探究の時間を活用した「村高発☆地域元気化プロジェクト」
- エ 身につけたい資質・能力の育成
- オ 探究活動における成果物を活用した検証
- カ 村高フォーラム、探究発表会を中心とした情報発信
- キ 香美町地域おこし協力隊員（教育コーディネーター）等の連携の可能性

## (2) 「高等学校における通級による指導」拠点校

全生徒に対応した全教員によるICT等を活用した、わかりやすいユニバーサルな授業の実施とその研修を積極的に推進する。

### ア 重点目標

- (ア) 学習サポート、面接、面談による生徒一人ひとりへの配慮の充実。
- (イ) 教育相談委員会等による校内支援体制（情報共有体制）の強化。
- (ウ) 通級による指導を効果的に実施するための教育課程等の整備。

### イ 実践事項

- (ア) 自校通級での自立活動の実施
  - ・加える学習 BSS（ベーシックソーシャルスキル）
  - ・替える学習 SS（ソーシャルスキルスタディ）
- (イ) エリアの高校をサポート
  - ・巡回指導、教育相談
  - ・教員研修・ケース会議の実施

## 6 県教育委員会の施策における取組

---

### (1) 高校生ふるさと貢献・活性化事業

- ア 「村高発☆地域元気化プロジェクト」（総合的な探究の時間）
- イ 「あいさつ運動」（PTA、香美町教育委員会と連携）
- ウ 「海の日親子ボランティア」（PTAと共催、清掃ボランティア）
- エ 「ボランティア村高」（放課後子ども教室）
- オ 「オープンスクール」

### (2) 高校生就業体験事業～インターンシップ推進事業～

- ア 「総合型・学校推薦型選抜対策講座」
- イ ハローワーク講師による就職面接指導
- ウ 地域企業におけるインターンシップ（2年）
- エ 専門学校講師による分野別職業体験
- オ 「ふれあい看護体験」、「ふれあい育児体験」
- カ 但馬地区事業所見学会（3年）、但馬地区高校内企業説明会（2年）

### (3) 高校生キャリアノートの活用

進路ホームルーム活動や関係する教科科目での活用

### (4) 県立高校特色づくり推進事業～インスパイア・ハイスクール～

- ア 「学校運営連携協議会」の開催（年2回）
- イ 「連絡調整会（高校支援連絡会）」の開催（毎月1回）
- ウ 「公開講座の開催」（地域探求等）の開催
- エ 「教育講演会・小規模集落サミット」の実施
- オ 「村高フォーラムの開催」
- カ 小・中学校や地域との連携事業の推進